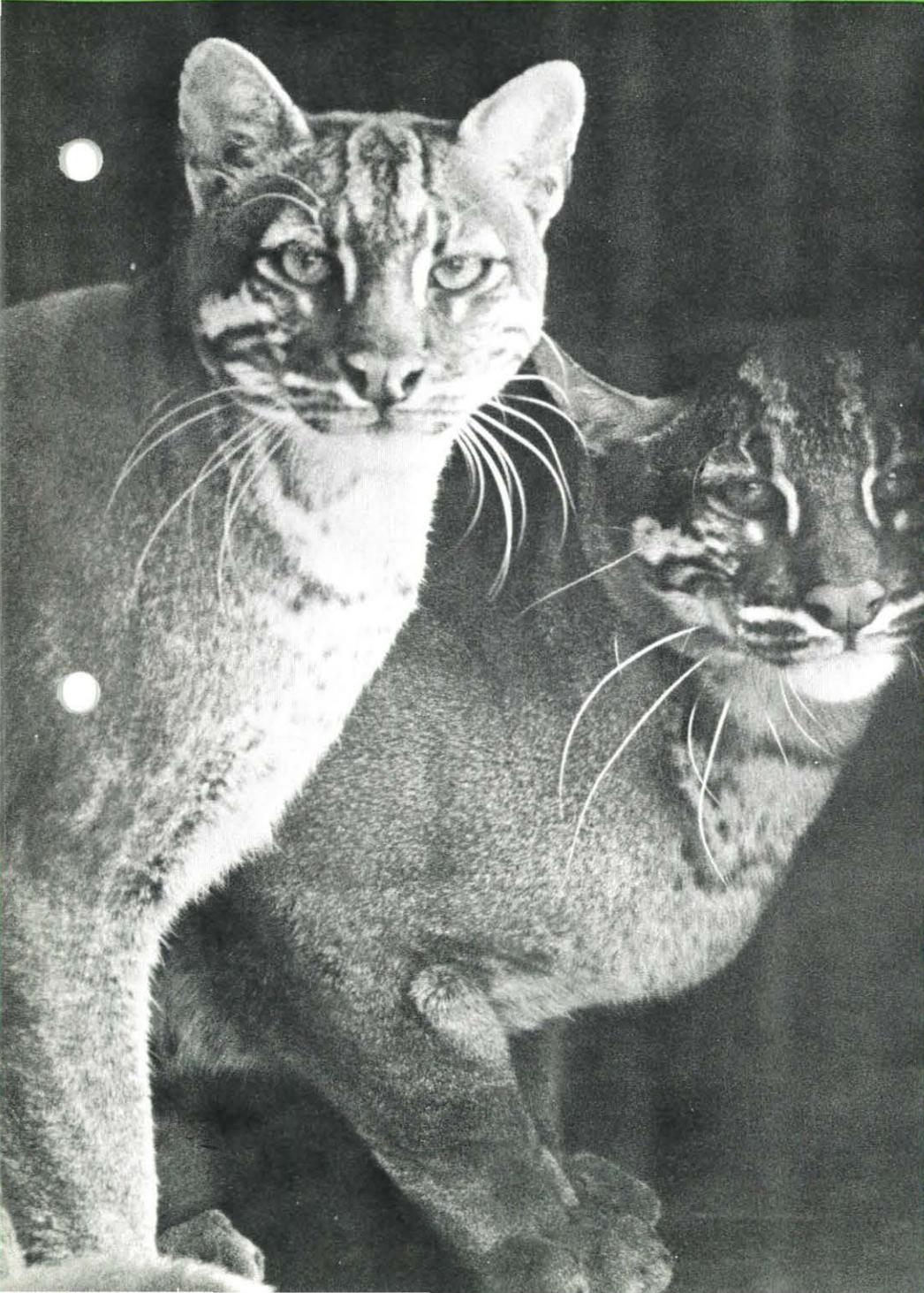


なきごえ



1973

6

大 阪 市
天王寺動物園協会

動物と私

岡田 健三

休日、日ざしが高くなるまで眠り込んでいた。電話が鳴った。野鳥の観察に夢中になっている人からだった。大和川上流の石川からチドリの姿が消えてしまいそうでなんとか守りたい、との話。すぐ調べにかかった。もらった観察記録を読み返し、話しを聞いた。朝と夕、川へ行ってみた。野鳥の姿は期待していたよりも多い。だが水は年々よごれる一方で、ゴミの不法投棄もたびたびあるとか。「これでは鳥がかわいそうで……」というこの人の話にいつのまにかひき込まれていた。動物記事取材の一端である。

私が動物（正確には動物とかかわり合っている人）とお付きを始めたのはちょうど三年前になる。社会部へきて最初に回ったのが天王寺動物園。昭和の十年代、私の父親がやはり新聞記者として通ったところで、妙な二代目である。そのころまで、とくに動物に関心をもっていたわけではなかったが、いつのまにか動物の世界にのめり込んでしまった。動物園回りが私の「動物開眼」だった、と思う。

動物園にはいろいろな動物がいる。私が回り始めたころ話題になっていたのはニュージーランドの珍鳥キーウイ。動物園の人たちと顔を合わすたびに「ミミズがほしい」「どうしたらミミズが集まるか」とミミズの話ばかり。スコップを持って各地へ出かけたり、ミミズ畑をつくるなど飼育係の人たちはこの大食漢のために走り回っていた。わずかな音にもおびえる甘えん坊に付添って夜を明したこともある、とも聞いた。これほど世話がやけるのにこの鳥は深夜しか姿を見せない。「憎たらしいやつだ」と思った。

「よし、この鳥を取上げよう」。電気仕掛けでミミズを採取する「ミミズラー」を使って甲子園球場

で実験、したり、夜、赤外線写真で写真部員がこの鳥の行動をフィルムにおさめた。いずれも愉快な話として紹介した。しかし、動物園ではいまなおミミズ不足で苦労している、という。フンをたれるゴリラ、子を育てないカバ、木登りが出来ないサル……。珍しい動物がやってくればはでに取上げるが、一連の取材で飼育や繁殖の苦労を思い知らされた。同時に憎いはずの動物たちにとりつかれてしまった。

動物園の外ではもったきびしい事態になっている。観光資源にとエブけされたが、いつのまにか「猿害」の汚名をつけられたサル。密猟家にねらわれ、商品になっているカモシカ。大台ヶ原や淀川の河原では「巣がけもできないほど荒されている」と聞いた。動物の話は楽しい。けれども愉快だけではすまされないことを何度も何度も見た。

世のなかには動物を守ろうという人だけではない。野鳥や天然記念物のこん虫を乱獲したり、生息地をブルドーザーで開発。動物園で動物に石をぶつけたり、ペットを放ってしまう人。動物との付き合い方は人によってさまざま。どれが悪いということではなく、人と動物のかかわり合うこの姿こそ、現在の動物たちの縮図ではないか、と思う。私はいまの仕事をつづける限り、直接動物たちを追い回す余裕がない。けれども、二重写似的なこの付き合いはこれからも続けるつもりである。

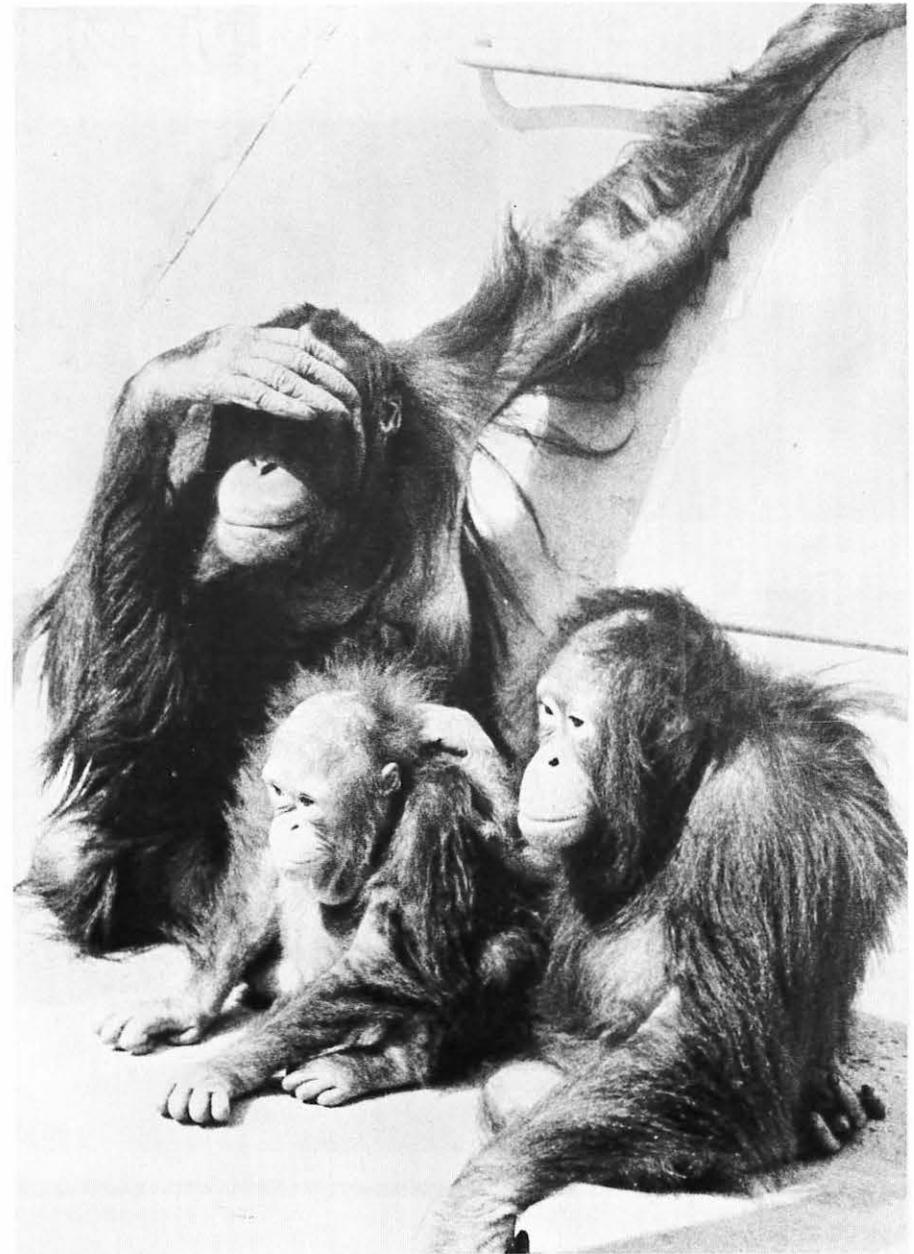


(朝日新聞記者)

表紙の写真説明

“ゴールデンキャット”

アフリカのジャングルにいる。このネコはビューマに見ているがそれよりまだ一回り小さくたいへんおくびょうな性格です。いつも部屋のすみっこにじっとしています。



「オランウータン」

左からおすのブル、一番ちびのさつき、それにユキです。たいへんよく飼育係になれ、めすの2頭は演技もしています。朝のまぶしい光をあびて小手をこざしているところなどなかなか人間くさいしぐさです。

なきごえ6月号もくじ	
動物と私	2
オランウータン	3
動物園グラフ	4・5
ジャッカルを育て	6・7
動物雑感	8
最南端の動物園	9
小学生の動物観察(どうぶつえん わたしのリッキー)	10
動物園ニュース	11

動物園グラフ

“フラミンゴのふ化”

今年もキューバフラミンゴのひなが5月2日と18日にふ化しました。今年はこのキューバフラミンゴに刺激されたのかヨーロッパフラミンゴや、チリーフラミンゴまで産卵し、卵をあたためています。ここでは、写真でそのもようを御紹介します。

(写真と説明 樽本 勲)

卵を産んで抱卵に入るめす。
抱卵はおすとめすが
↓交替する。



↑交尾
長い足を器用に
折りまげて



←時々立って卵を
くちばしで転がす。
抱卵中もせっせと
まわりの泥を集めて
巣につみあげる。



↑ふ化して1週ほどすると
巢の下において、えさをあさる。
高い泥の巣にあがるのが一苦労。

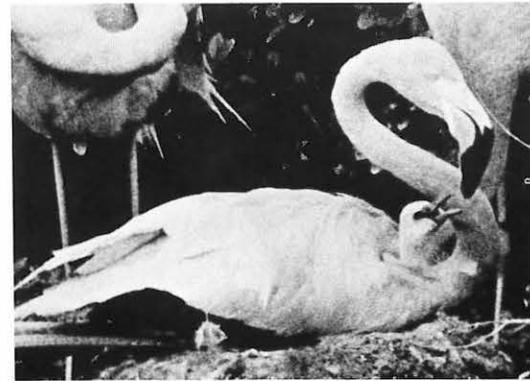
口うつしにえさをながし込んでもらうひな。
3~4分間も続けてえさをもらっています。



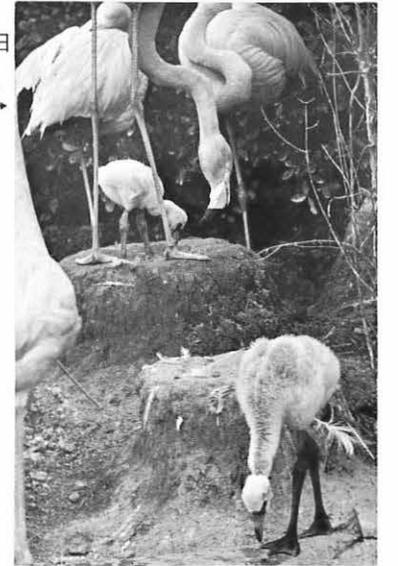
↑もう20日以上たったひな。羽根の色も灰色になってきて、口ばしも曲ってきた。



夜や昼寝のときはメスの羽根の下に入ってねる。
時々首だけ出してえさをもらう。↓



16日もふ化日の
違うひな。



5月の動物園日記

- アカカンガルーのおすが出血性胃腸炎のため急死しました。
- キューバフラミンゴのひなが1羽ふ化しました。
- シュバシコウ1番を沖縄のこどものくに動物園に贈りました。
ゾウの目方を計る会の投票がはじまりました。
- シュバシコウは今年も現在のところ3つの巣で10羽ふ化していますが、1羽を人工育雛することにしました。
ゾウの目方の予備計量を行ないました。
- 快晴の天気にも恵まれた「子供の日」は入園者22万人を数えてごったがえしました。午後からゾウの目方を計る会が行なわれ、市長も来園されました。

ユリ子さんの体重は、3650kg、ひろ子さんの体重は1060kg。

- シナワニがとなりのワニに噛まれてしまいましたので治療してやりました。
この日も好天で入園者が多くにぎわいました。
- ハナグマに赤ちゃんが生まれましたが惜くも死んでしまいました。
- クモザル4頭を南園のサルアパートに移動しました。
ニホンザルの赤ちゃんが今年始めて生まれました。
- クロエリハクチョウが4コ産卵し抱卵しています。
- アカリクガメが死にました。右前肢のつけねから出血してながらく治療を受けていたものです。
マレーガビアル2頭が栗林公園から到着していましたが、この日から爬虫館で展示しました。

- トゲヤマガメなど8種の爬虫類の寄附がありました。
- 大阪の猟友会よりイワシヤコの寄附がありました。
インドヒョウの赤ちゃんが3頭生まれました。初産にもか、わらず母ヒョウは上手に育て、いますのですくすく育っています。
春の動物園まつりが終わりました。
- 市長公館からコイ300匹をもらい噴水池にはなしました。
- キングペンギンなど夏の暑さに弱いペンギンたちをこの日から冷房室に移してやりました。そして、10月までこの中ですごします。
- アグーチに赤ちゃんが生まれましたが、惜くも死んでしまいました。
- キューバフラミンゴのひながふ化しました。前日から嘴上げしていましたが、なかなか割って出て

- 来ないのでピンセットで少しずつ出してやりました。
- サイの交尾を確認しました。
- フンボルトペンギンのひながふ化していましたが惜しくも仲間にもふまれたのか死んでいました。
- このところ朝晩の冷え込みがあるので暖房の止った爬虫館の住人たちの食欲が低下しています。
クロボウシテナガザル1頭が衰弱がはげしく治療しています。
- トビカモシカのおすをはじめ放飼場に出してやりました。
- インドニシキヘビが抱卵中でしたが、抱卵をやめたので調べると2コが有精であと20コほどは無精卵でした。
盲啞学校の生徒たち30名がウサギ、ニワトリ、ヤギの剥製の触察授業を受けました。

ジャッカルを育てて

正木時雄

昭和40年3月23日入園のジャッカルの夫婦は、大変仲が悪く、別々のオリに入れて飼育してきました。ところが今年1月10日朝、メスに発情期が来たので、早速オスをメスのオリに入ると、交尾を行ないま

した。その後、40日目頃よりメスの妊娠が確実となったので、寝室に寝ワラをたくさん敷いてやりました。50日目にメスを運動場に出した後、寝室を見ると、ワラの積みあげた中に直径30cm位の穴を3個作り、巣のようにしていました。



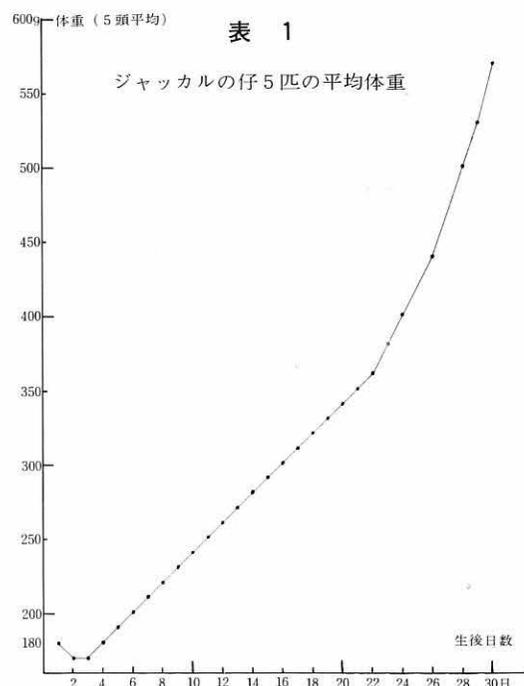
(哺乳状況)

3月8日朝、うす暗い寝室の中から仔の鳴き声が聞こえました。妊娠期間は57日で、予定より3、4日早い出産なので、親子共元気が大変心配しました。親は元気でしたが、仔は寒さの為か、弱々しい鳴き声が聞こえました。親の様子を静かに観察すると、親は仔の面倒をみているようですが、少しの音でも聞こえると隣室に行ってしまう。余り哺乳をしていないのか、仔もだんだん鳴き弱っているようなので、5時30分、人工哺育にすることを決めて引き取りました。

仔はオス1頭、メス4頭で色は黒で、体重はオス185g、メス175、170、160、155gでした。3頭は元気でしたが、メス2頭は非常に弱っていました。

保育器の温度を25℃にし、その日は仔の様子を見ることにして、3月9日より哺乳することにしました。調乳は肉食獣用人工乳(エスピラック)8gを温湯50ccにとかし、最初はスポイドで与えることにしました。

次に小指で吸いつくようにさせましたが、余り飲まないため、少し体重が減りました。その後、2、3日ですく吸いつくようになったので、小型哺乳器に切替えました。1日1頭分50ccを6回に分けて与えることにしました。ミルク



はよく飲むようになりましたが、メス2頭が激しい下痢を起こしたのでペニシリンを注射しました。次の日からは元気になって、5頭共ミルクを同じ位飲み、体重も少しずつ増えるようになりました。ところが夜になると哺乳時間の間隔が長くなるため、乳を捜し合って互いに吸いつき合って、毛が抜け始めました。そこで哺乳箱を5つに区切って、1頭ずつ別々に入れることにしました。12日目で2頭の眼が細く開き、次第に残りの3頭も眼が開き、耳の穴も開き、よく動きまわるようになりました。15日目頃より便は自分でできるようになり、17日目頃には視力も大分ついてきたようでした。又、音もこの頃より、

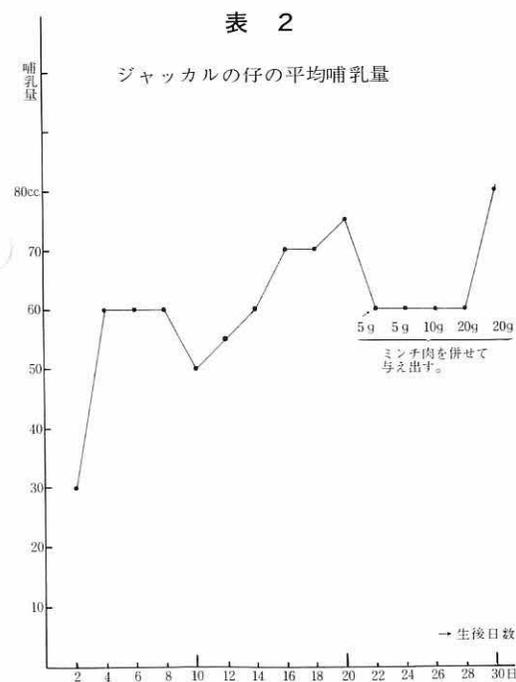


(最近のジャッカル)

よく聞こえ始めるようでした。そしてこの頃より、毛色が黒色から薄茶へと変わってきました。19日目に上顎の切歯2本と犬歯も生え出し、眼もはっきり見えるようになってきました。続いて下顎の切歯2本と犬歯も生え、22日目からウサギのミンチ肉を与え始めました。25日目位からミルクとミンチを混ぜたものを与えると自分で食べるようになりました。28日目に、歯は上下の切歯3本犬歯1本、計8本が生えそろい、臼歯も上下各1本が生えました。

31日目からは1つのオリに入れて一緒に外に出しました。みんな仲良くじゃれあってうれしそうでした。

(動物園飼育係)



岸本芳郎

昨年の秋から上野の森を湧かした、パンダブームを見て、終戦直後、印度のネール首相から、「日本の子供たちへ」と贈られた仔象が神戸港に到着したことを思出し、人間の本质はちっとも変わらないものだと思心しました。

誰しも動物にまつわる想出の一つや二つ、持っていることでしょうし、鳥や、虫を含めて、動物との交流に、情熱を傾けた時が、あったであろうと思われれます。

動物検疫所に勤めている私などは、それぞれの動物につながって、過去の年月を思出す様な有様で、其の意味では、普通の人よりも動物とのつながりは、密接であろうとは、思われます。

だが「牛や馬が飛行機で運ばれて来るとは、ぜい沢なものですなあ……」とか「一頭で何億円もするサラブレッドなど、常識では考えられません…」などの一般的な興味には、関りなく、我が国へ輸出入する動物並びに、畜産物の検査をして、国内の家畜の健康を守り、一方では健康な動物、清浄な畜産物を輸出して、国の国際的な信用を保持して行くのが私どもの仕事なのです。最近自分の仕事を通じて動物達を見ておりますと、複雑な思いにとらわれる事があるのです。昔は獣医学も極めて幼稚なものでした。反面、現在でも、最も恐れられている、2・3の伝染病は、ちゃんと確認されており、地区や、時期を限って、猛威を振るっていたのです。それでも、動物たちは着実に環境に適応し、各々の種族は繁栄していたのです。それが近頃、絶滅を心配されている種族や、既に全く姿を消してしまった種類があることが、続々と伝えられております。私はここで、

改めて大気汚染や、過剰開発などの、公害問題を論じるつもりはありませんが、やはり人間のエゴイズムが、すべての動物達の、生存の条件をよりきびしくしている事を認めざるを得ないのです。

「乳をしぼる」「大量の肉をとる」などの目的のために、一日に10軒も歩けない乳牛や、僅か50種の高さの、とまり木にも、とまれないにわとりを作出する事は、人間の生活をより良くするためには止むを得ない事かも知れませんが、この様な特殊な能力を持たすため、その動物が本来持っている筈の秀れた特性が、次々と失なわれ、現在では、改良された家畜のすべてが、人間の保護なしには、生存出来なくなっております。これらの家畜が少しでも快適な状況を保てるよう、限られた枠の中で努力している訳ですが、私が学んだ動物の生理、生態を始めとする獣医学が、所詮は動物達のものではなく、人間のためのものであったと、考えさせられる事の多い此頃です。同じような意味で、動物園の動物たちも、いわゆる飼育技術の犠牲になっているところが、あるのではないのでしょうか？今に「木から落ちる猿」や「泳げないアシカ」などが出て来るのではないのでしょうか？しかし狭い限られた場所で、より自然に近い状態を保つという無理な条件を解決しようと努力されている点では、心からの敬意を表しますが…。

子供に対する過保護が自省されるとき、北欧原産の愛玩犬に毛糸のチャンチャンコなどを着せて愛犬家を気取るような、まちがった動物愛護精神だけは発揮したくないものです。科学の進歩が、そのまま動物たちの繁栄につながるような、世の中になることが、本当に理想だと思うのですが……。

（農林省動物検疫所神戸支所
大阪空港出張所長）

松岡恵爾

沖縄のコザ市にある、財団法人沖縄県こどもの国は、沖縄の本土復帰を記念して設立されました。

理事長はコザ市長、園長は前助役の玉山氏です。その敷地は10万㎡でコザ市を望む見はらしのよい丘の上の環境に恵まれたところにあります。

開園1周年を迎えたばかりなので、動物の方も充実しているとはいえませんが、それでも現在60種320点の動物が展示されておりました。本土の動物園とは異って空も美しく空気も美味なので、動物達ものびのびしているように感じました。このように恵まれたところですから、動物達もすくすくと育って、繁殖率もよいでしょうから、将来が大変楽しめます。

このこどもの国が開設されたとき、京都動物園からタヌキ1番、日本モンキーセンターからハナシカ20頭、上野動物園からテナガザル、多摩動物園から、コビトコブウシがそれぞれ贈られています。

今回は本土復帰と開園の1周年に当ります。又本土復帰を記念して若夏国体という輝やかな催しものが開かれ、本土各県から多数の選手団が参加して、いるのでこの交流を通じて、確かに復帰したという観念を全県民が肌で感じるとして全県下は湧いていました。

このようなときに天王寺動物園から、幸福を運ぶ



（コウノトリの出発風景）



（コウノトリの禽舎）

鳥として知られている、ヨーロッパコウノトリの1番がこれまた、「こども祭り」で賑わっているこどもの国に贈られることになりました。

この使命を果たすために選ばれた、コウノトリは、天王寺動物園で昭和45年に生れた、見るからに若々しい1番でした。

昭和48年5月3日、本園の中川園長や沖縄県大阪事務所の喜屋武所長に見送られて、全日空の厚意によって元気に沖縄に飛び立ちました。

名瀬空港には国体役員でおいそがしい玉山園長がわざわざお迎え下さって一路こどもの国に着きました。新らしく設けられた、コウノトリ舎には少しなじまなかったようですが、南国の空をまぶしそうにはばたいてよい仔達にお目見えしました。

5月5日こどもの日に開かれた贈呈式にはあふれるばかりのよい子で式場はうずまいました。大阪市長のメッセージが読まれてコザ市長に渡され、コザ市長から感謝状が贈られ、記念写真と云う運びになったのですが、うしろに近よって来たよい子の中から「おじさん感謝状を持ったら」と思いがけないアドバイスを受けた。この有難いアドバイスの中に沖縄のよい子達の心が十分はね返っているのを深く感じました。どうかこの子達と共にコウノトリがすくすくと育ってくれることを祈りつゝ、こどもの国をあとにしました。

（動物園 主査）

小学生の動物観察

どうぶつえん

大阪市立桃陽小学校 1ねん
てらうち ますみ

わたしが、しゃかい見学で、どうぶつえんを、おもいだすのは、ライオンです。おすのライオンは、大きくて、こわそうなライオンでした、ライオンの、なきごえは、「ウオー。」と、大きな口を、あけてなきました。大きなぎざぎざのはが、たくさんあって、どうぶつの、王さまらしく「のし、のし」とあっていた。ライオンがはりました。でも、あんなせまい、おりの中なのですきなだけ、はしれないのかスピードがなかった。かかりの人が、ライオンの子どもを、つれてきて見せてくれました。赤

ちゃんライオンは、大きいあんなこわそうなライオンにくらべると、ねこのようです。わたしは、ライオンの赤ちゃんでなく、ねこかとおもいました。とくに耳がまるくて小さくてかわいかった。かわいかおして、はずかしそうにして、かくれたがっていた。その時、赤ちゃんが「プチュ。」とうんこさんを、しました。みんなが、「げらげら。」とわらいました。とてもくさかった。わたしも、はなをつまんでしまいました。白くまは、ごうがいのせいか、ちゃいろいろいろでした。わたしは、ライオンもトラも、キリンも、ぞうもみんなをもっとひろいところへ、入れてやって、はしりまわれたら、どんなによるこぶかなとおもいました。

わたしのリッキー

大阪市立桃陽小学校 1ねん
たかはし ようこ

リッキーは、ちいさいくせに、とてもわるいことをします。わたしがおこっても、すこしもいうことをききません。しかし、すごきびしがりで、一びきにしておくとキャンキャンとすごうるさくなります。また、リッキーは、ごはんをよくたべます。ききなものは、わたしといっしょでにくやかしわです。こんなかわいいリッキーですが、ほっておくとすぐにくさくなります。だから、ときどきおふろば

であらってやります。するとリッキーは、きもちがいいのかじっとしています。そしてときどきリンスもしてやります。

つぎにリッキーという名まえのことですが、はじめは、チビにしようとながながいとおかあちゃんが、リッキーにしようといつたのでそうきめました。でもときどきチビのほうが、かわいかったとおもうときがあります。このごろ、リッキーをつれてこうえ、へいくことがあります。するとリッキーは、すごくよろこんではしりまわります。

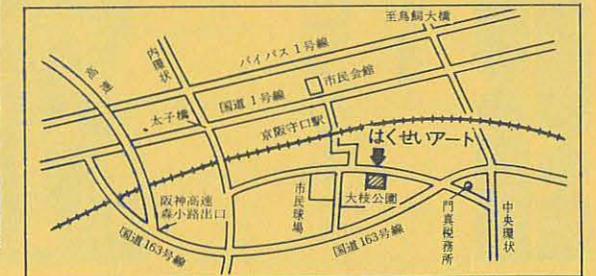
従来の剥製イメージを
一掃!!



★各界注目の研究グループ! (TV出演)

はくせいアート

株式会社 スガワ製作所
TEL 992-6497



グラント乾燥のパイオニア登場!!

どんな雨あがりでもすぐ試合、練習OK!!

10分でグラント、コートがカラッとします。

Hi-Dri ハイドライは独得の強力吸湿性と
ザックリした感触で

雨後のグラントを引締め、運動技能を損う不愉快なぬめり、ベタツキを除きさっと散布するだけで晴天のようなグラントコンディションを造りあげます。



輸入販売
株式会社

エンドル

北事務所 大阪市北区伊勢町9番地 TEL (06)364-3149
本社 大阪府守口市東光町3丁目3番地 TEL (06)996-2245(代)

昨年の...
を見て、...
の子供た...
ことを思...
だと感心...
誰しも...
いること...
交流に、...
れます。
動物検...
物につな...
其の意味...
密接であ...
だが「...
沢なもの...
サラブレ...
などの一...
入する動...
畜の健康...
物を輸出...
が私ども...
動物達を...
事がある...
した。反...
の伝染病...
期を限つ...
動物たち...
していた...
る種族や...
ことが、...

夢が広がるショッピング...
近鉄がお届けします



近鉄



☆フラミンゴの産卵

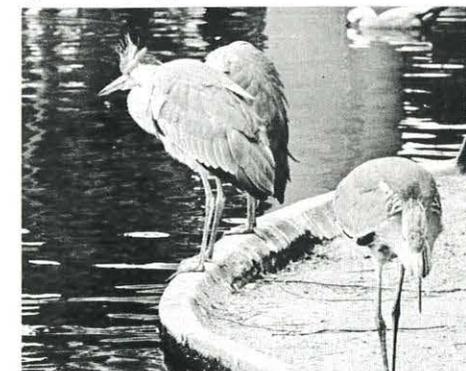
(一部既報)

当園のフラミンゴは、現在24羽おり、そのうちわけはキューバフラミンゴが16羽、ヨーロッパフラミンゴが3羽、チリーフラミンゴが5羽です。2年前に始めて産卵をしましたがネコなどの外敵にやられてしまい、去年は4個産卵した内2羽がかえりました。

今年4月3日にキューバフラミンゴが産卵し、以後4月中に4日、13日、13日、20日、29日、5月に入って11日、19日、24日とで合計10個産卵しました。そのうち4月3日産卵のものが5月2日に孵化し、4月20日産卵のキューバフラミンゴが5月18日に孵化しました。無精卵が4個ありました。これは孵化予定日を過ぎても孵化しないので取りあげた結果分りました。フラミンゴの孵化日数は約30日です。現在まだ4個抱卵中で、後何羽かえるか楽しみです。すでにかえった雛は、巣の周辺をヨチヨチ歩き回り、時々親から餌をもらっています。まだ白い綿毛に包まれているが、親と同じ朱色になるのには2年程かかるでしょう。

(鈴木克治)

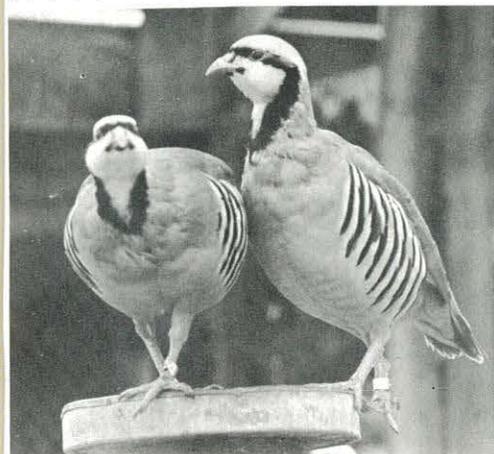
☆アオサギの自然ふ化



アオサギが今年も2つの巣で4羽もふ化しました。シュバシコウの巣を2つ占領して卵をだいていたものです。アオサギはなかなか気のきつい鳥でシュバシコウもタジタジとなって巣をあけわたしたようです。

アオサギは、さぎの仲間でも最大級のもので、ひなを育てるのが大変うまい。動物園でのふ化は珍しい。

☆イワシャコの入園



中国原産のイワシャコ5羽が大阪の猟友会から寄贈されました。中国の高い山にすむ、キジの仲間ですがほとんど飛ぶことなく地上をせかせかと歩きます。猟友会が猟鳥として試験的に輸入し、繁殖に成功したものです。

☆インドヒヨウの赤ちゃん誕生

5月13日、インドヒヨウに赤ちゃんが3匹生まれました。初産ではありますがなかなかうまく乳を与えていますので、すくすく育っています。

この母ヒヨウは入園したときからかなりなれていましたし、分娩日が近づいたとき分娩のためあらかじめ部屋を暗くして安定させるように努めたのがよかったです。父親ヒヨウは黒ヒヨウをかけたのですが、赤ちゃんは全部母親と同じ色でした。まだ性別は分かりませんが、秋頃には大きくなって皆さんにお目見得できるでしょう。

☆猛獣放飼場改修なる

昨年末からライオン、トラの放飼場の擁壁の改修工事をしていましたが、このほど半年ぶりに完成しました。

人気もののライオン、トラが久しぶりに入園者にお目見得し、いずれもかわいい赤ちゃんをつれて新装なった放飼場に花をそえました。

なきごえ 昭和48年6月15日発行(毎月1回15日発行)第9巻第6号(通巻95号)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

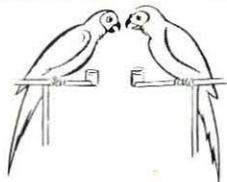
印刷所/株式会社 松村善進堂

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪(06)771-0201

振替口座 大阪 37823

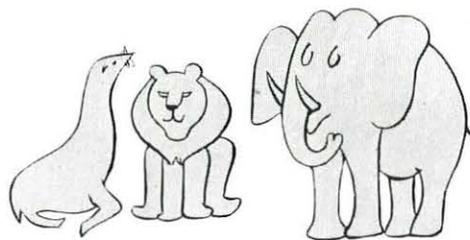
定価100円(送料共) 1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517

飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

パイン・オレンジ・フルーツカクテル

各140c.c.=60円